

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
202	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
<p>Alcohol consumption before sleep is associated with severity of sleep-disordered breathing among professional Japanese truck drivers.</p> <p>日本人のプロトラック運転手において、眠前の飲酒は睡眠を障害する呼吸の重症度と関連がある。</p>	
執筆者	
Sakurai S, Cui R, Tanigawa T, Yamagishi K, Iso H.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Alcohol Clin Exp Res. 2007 Dec;31(12):2053-8.	
キーワード	
飲酒、睡眠を障害する呼吸、酸素不飽和	
要旨	
<p><b>目的：</b>  飲酒は肥満と同様、睡眠を障害する呼吸 (SDB) の重症度を悪化させることが知られている。しかし、トラック運転手における飲酒についてはほとんど知られていない。この研究の目的は、トラック運転手における飲酒と SDB の関連について調査することである。</p> <p><b>方法：</b>  日本トラック協会に登録している 20~69 歳の男性 1,465 人について、断面調査を実施した。3% 酸素不飽和インデックス (3%ODI) を SDB が存在するとして選定した。3%ODI は、1 晩中測定した酸素飽和度の結果から、3%以上酸素飽和度が低下したと記録された 1 時間当たりの回数から算出した。対象者は SDB を評価した同じ夜の飲酒量を含めた自記式質問票を完全に記入した。</p> <p><b>結果：</b>  3%ODI が 1 時間当たり 5 回以上、10 回以上、15 回以上の有病率は、それぞれ 25.4%、11.1%、6.6%であった。3%ODI が 10 回/時間以上の多変量オッズ比 (OR) は、非飲酒者と対照とすると、飲酒量が 0.5 以上 1.0g/kg 未満で 1.5 (0.9-2.5)、1.0g/kg 以上で 3.4 (1.8-6.6) であった。飲酒との同様の関連が、3%ODI が 5 回/時間以上でも、15 回/時間以上でも認められた。飲酒量 (飲酒 1.0g/kg 以上) と 3%ODI<math>\geq</math>10/時間の関連は、BMI<math>&lt;</math>23.4kg/m<sup>2</sup>の群のほうが、BMI<math>\geq</math>23.4kg/m<sup>2</sup>の群よりもより強く見られる傾向があった (11.4 (3.2-4.1) 対 1.2 (0.6-2.7)、<math>p=0.18</math> の相関)。同様の傾向が 3%ODI<math>\geq</math>5/時間でも見られた。</p> <p><b>結論：</b>  診断されていない SDB の有病率と SDB の重症度に関連する飲酒量は、トラック運転手の SDB を予防または管理するためには、SDB スクリーニングの重要性と体重コントロールと同様飲酒に対する介入の必要性を示した。</p>	